

2025 年度 東京芸術文化創造発信助成
「カテゴリーⅠ [単年助成 第 2 期] 芸術創造活動」
「カテゴリーⅡ [長期助成] 芸術創造活動」
「カテゴリーⅢ [長期助成] [単年助成 第 2 期] 創造環境向上活動」
「カテゴリーⅣ [長期助成] 海外映画祭参加活動」
対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京では、東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市のさまざまな課題に取り組む芸術活動等を支援しています。

このたび、2025 年度 東京芸術文化創造発信助成の対象事業を決定いたしました。

「カテゴリーⅠ [単年助成 第 2 期] 芸術創造活動」には 214 件の申請があり、53 件を採択いたしました（採択率 24.8%）。助成予定総額 96,831 千円です。うち「創作環境サポート費」は 10 件で予定総額 723 千円です。

「カテゴリーⅡ [長期助成] 芸術創造活動」には 23 件の申請があり、2 件を採択いたしました（採択率 8.7%）。助成予定総額 6,000 千円です。

「カテゴリーⅢ [長期助成] [単年助成 第 2 期] 創造環境向上活動」には 30 件（長期助成：16 件、単年助成：14 件）の申請があり、5 件を採択（長期助成：3 件、単年助成 2 件）いたしました（採択率 16.7%）。助成予定総額 6,950 千円（長期助成：5,900 千円、単年助成：1,050 千円）です。うち「創作環境サポート費」は 1 件で予定総額 100 千円です。

また、今期より新設した「カテゴリーⅣ [長期助成] 海外映画祭参加活動」には 21 件の申請があり、9 件を採択いたしました（採択率 42.9%）。助成予定総額 13,998 千円です。

※創作環境サポート費

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）や「東京都男女平等参画基本条例」などに関連して、アーティストや制作関係者等が、性差に関わらず、より活躍できるよう配慮や工夫をしている事業に対し、10 万円を上限として実費を支援します。

**2025 年度 第 2 期 東京芸術文化創造発信助成
「カテゴリー I [単年助成] 芸術創造活動」**

「カテゴリーI [単年助成] 芸術創造活動」では、都内で実施する上演・コンサート・展示・上映・アートプロジェクト、その他の公開を伴う芸術創造活動や、海外公演・展示、国際コラボレーション、国際フェスティバル、招聘公演・展示等の国際的な芸術交流活動を対象とします。

■ 2025 年度 第 2 期「カテゴリーI [単年助成] 芸術創造活動」 申請・採択件数

区分 分野	都内での芸術創造活動		国際的な芸術交流活動		申請件数	採択件数
	申請	採択	申請	採択		
音楽	38	12	3	1	41	13
演劇	80	11	7	2	87	13
舞踊	7	3	3	2	10	5
美術・映像	18	1	9	2	27	3
伝統芸能	16	10	2	1	18	11
複合	24	5	7	3	31	8
合計	183	42	31	11	214	53

・対象期間:2026 年 1 月 1 日以降に開始し、2026 年 12 月 31 日までに終了する事業

■ 2025 年度 第 2 期「カテゴリーI [単年助成] 芸術創造活動」採択事業 一覧

申請 214 件、採択 53 件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)	創作環境 サポート費
音楽	都内での芸術創造活動	団体	夢枕	夢枕2026年公演「ユーラシア草原からの響き」	1,000	
			松平敬&工藤あかね	テキストによる音楽（仮題）	800	
			一般社団法人東京室内歌劇場	オペラ「恐るべき子供たち」	2,000	
			vocalconsort initium	vocalconsort initium ; 11th concert ——いのりの深層（仮）	1,743	
			オーケストラ・プロジェクト	オーケストラ・プロジェクト2026	1,800	
			イーストエンド国際ギターフェスティバル	饗賢奏和	1,600	
			一般社団法人エクス・ノーヴォ	エクス・ノーヴォ vol.23 & vol.24	2,100	○
			一般社団法人アンサンブル室町	アンサンブル室町による愛と死	1,880	
			一般社団法人Cabinet of Curiosities	Cabinet of Curiosities 2026 New Music Theater	2,000	
		個人	間宮匠	藤元高輝&間宮匠ジョイントコンサート（仮）	263	
			木村恵理香	Bamboo Beyond Borders ～尺八、世界の作曲家たちと今、吹き渡る～	325	
			台信遼	Contemporary Piano Showcase #3	323	
	国際的な芸術交流活動		小森邦彦	XXIV INTERNATIONAL PATAGONIA PERCUSSION FESTIVAL	500	
演劇	都内での芸術創造活動	団体	バンケーキの会	バンケーキの会二本立て公演『ある夜をめぐって』	1,900	○
			特定非営利活動法人ぼこぼこクラブ	ぼこぼこクラブ新春公演'26 AOMORI × POCOPOCO「home」	2,000	
			一般社団法人なかふら	中野成樹＋フランケンズ2026 演劇作品集『居場所・ドラマの基礎と応用』（2プログラム）	2,000	
			劇団スポーツ	劇団スポーツ #13『九蓮宝燈の夜』	2,050	○
			合同会社ロロ	劇と短歌2	2,000	
			べべべの会	『破恩 -pa-own-』	1,028	○
			ウンゲツイーファ	演劇公演『8hのメビウス』（仮）	1,953	
			ルサンチカ	ゴドーを待ちながら	1,781	○
			玉田企画	玉田企画新作公演	1,800	
			東京にここにちゃん	東京にここにちゃん新作公演	2,000	
			合同会社風姿花伝プロデュース	「現代語版『ハムレット』」（仮）	2,000	
	国際的な芸術交流活動		合同会社アルシュ	庭劇団ペニノ「埋火」ウィーン公演	4,020	○
			一般社団法人Port B	RINGBAHN PROJECT（仮）	3,600	

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)	創作環境 サポート費
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人Co. Ruri Mito	Co.Ruri Mito 2025 新作公演『Echoes』	2,000	
			Arche	Dance Company Arche 新作公演「Hear Me, If you can」(仮)	2,000	
			合同会社他力	モモンガ・コンプレックス本公演Vol.14「遠くから見ていたのに見えない。2」(仮)	2,100	○
	国際的な芸術交流活動		合同会社S20	梅田宏明＋Somatic Field Project アメリカツアー	4,000	
			一般社団法人ケダゴロ	「代が君・ペロペロ・ケルベロス」USツアー(仮称)	4,000	
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会	第17回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	2,000	
	有限会社タカ・イシイギャラリー		ヴェネチア・ビエンナーレ日本館でのパフォーマンス	4,098	○	
	Nest-A株式会社(CAVE-AYUMI GALLERY)		Columns & Colonnades 2026	1,420		
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人松の会	第38回檀の会	1,600	
			松永鉄九郎事務所	長唄の会 vol.43	1,040	
			都山流尺八峰山会竹の新撰組	野村峰山と竹の新撰組～伝統と創造～Vol.4	1,032	
			邦楽四重奏団	邦楽四重奏団 concert vol.15	1,952	
			Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble	Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble 2026公演 伝統と革新4～古典を紐解き、未来の伝統を創造する～	1,880	○
			一般社団法人伶楽舎	伶楽舎雅楽コンサートno.44 雅楽で新春を寿ぐ	1,811	
			邦楽ぐるーぷ 翔の会	第8回 翔の会	500	
			藤本昭子の会	伝承の力 古典の現在	1,950	
			若獅子会	第十五回若獅子会	1,472	
		個人	山本亜美	Thoughts～その先へ 山本亜美二十五絃箏リサイタル	300	
	国際的な芸術交流活動	団体	一般財団法人観世文庫	「ベルリン音楽祭2026 フィナーレ」観世宗家特別公演	4,000	
複合	都内での芸術創造活動	団体	バストリオ	バストリオ新作本公演 音楽演劇『ワン・プラス・ワン』(仮)	1,650	
			全生新舎	野口晴哉記念音楽室「触れの効用」シリーズ	1,200	
			ドキュ・メメント実行委員会	ドキュ・メメント2026 この地上をどう愛するか	1,336	
			紙カンパニーproject	『紙カンパニーの宇宙戦争』の捏造とアーカイヴ制作事業(仮)	500	○
		個人	村田厚生	mut8.AI(trombone)	392	
	国際的な芸術交流活動	団体	東雲舞踏	The Chaos Tree	4,000	
			一般財団法人エルスール財団	ロルカ・フェスティバル2026 inグラナダ ～ロルカ、フラメンコ、そして日本～(仮題)	1,332	
特定非営利活動法人アジア・ミーツ・アジア			アジア9都市共同創作公演「Unbearable Dreams 15- Silent Voice」(ワークショップ、シンポジウム)	2,800		

■ 2025 年度 第 2 期「カテゴリーI [単年助成] 芸術創造活動」採択結果の概況

●音楽分野

41 件の申請があり、13 件が採択されました。初申請は全体の半数を占めましたが、そのうち 2 件のみが採択となりました。また、今回採択された事業は、活動成熟・トップ期の申請が多くなりましたが、事業内容の傾向としては、演奏者と作曲家等とが協働し、国際的な視座において新たなレパートリーを開拓する創造的活動が多くなりました。また、新たな工夫や視点を加えた再演を主とする事業も採択となっています。なお、ガイドラインに記載のとおり、当助成では普及啓発を主な目的とする事業は対象としていませんのでご注意ください。ステップアップを目指す若手・中堅からの積極的な申請を期待しています。

●演劇分野

第 2 期の申請件数は過去最多の 87 件となり、2024 年度第 2 期より 17 件増加しました。申請の内訳では、活動基盤形成期が約半数と最も多く、活動拡大・発展期と合わせて全体の 8 割を占めました。内容面では戦争やジェンダーといった社会課題を、演劇を通じて問い直すような申請や、コロナ禍以降、地域や国際社会へと創作の視野を広げた作品が多く見られました。スタートアップ助成を経て次の段階へ進む団体や、コンセプトや上演プランの深化によって新たな表現に挑む事業、活動規模拡大の契機となり得る事業が採択されています。一方で、再演や既存戯曲のリクリエーションは多く見られましたが、創作面でのアップデートが十分に確認できず、影響力や波及力の点でも向上が見込めない事業は採択に至りませんでした。申請事業ならではの新たな取り組みや工夫を盛り込むなど、意欲的な申請を期待しています。

●舞踊分野

申請件数は 10 件で、全て団体からの申請でした。活動ステージは活動拡大・発展期の団体が申請の 7 割を占めました。スタートアップ助成や、東京芸術文化創造発信助成の単年助成や長期助成の支援を受けながら継続的に活動を発展させてきた団体による、独自の表現を更に探求する公演事業等が採択となっています。また、アメリカの複数都市をまわる波及力の見込める国際的な芸術交流活動 2 件が採択となりました。スタートアップ助成を経て次のステージに活動を進める若手からの申請や、個人による挑戦的な活動、フェスティバルやコラボレーション等に取り組む事業等の申請にも期待しています。

●美術・映像分野

今期は活動ステージ別にみると、活動基盤形成期、活動拡大・発展期の申請者が全体を占め、活動成熟・トップ期からの申請がみられませんでした。第 1 期と比較し、初申請の割合が 85%から 60%に減少し、これまでに申請のあった個人や団体からの新規事業の取り組みについての申請がありました。国内での事業では、着実に実績を重ねている団体から、新たな試みに取り組む事業が採択となり、国際的な芸術交流活動としては、3 か国の作家が展覧会と出版物の共同制作を行うもの、また多様な文化背景を持つ人々と協働してパフォーマンスを実施し、革新性が見込まれる事業が採択になっています。今後も挑戦的・革新的な企画の申請を期待しています。ただし申請においてはコンクールやコンテストを主な目的とするものや、美術作品の販売を含む事業は助成対象とはなりませんのでご注意ください。

●伝統芸能分野

今期の申請件数は 18 件と例年並みで、そのうち約 3 割にあたる 6 件が初申請でした。当分野の採択率は例年 5 割程度と他分野より高い傾向にありますが、今期は革新性と継承性の両面から評価できる事業が多く、申請事業の約 6 割にあたる 11 件が採択となりました。一方、当助成では、活動基盤形成期及び活動拡大・発展期にあると思われる芸術団体等への助成を優先していますが、活動基盤形成期の採択は 1 件に留まりました。要因として、事業計画に未定の部分が多く、申請書類の記述が不明瞭で、事業の水準を見通せないものが少なくなかったことが挙げられます。種目別では、邦楽、日本舞踊、能楽、雅楽、演芸(落語)など多岐にわたりました。また採択事業には、海外作曲家への委嘱とストリングカルテットとの共演を行う邦楽団体による公演、ドイツの国際的な音楽祭のフィナーレを飾る能楽公演など、国際性が高い事業が複数あったことも特徴的でした。

●複合分野

今期は 31 件の申請があり、活動ステージ別にみると活動基盤形成期が約半数、活動拡大・発展期と活動成熟・トップ期がそれぞれ四分の一程度となりました。申請内容は、VR やメディアアートを活用した企画や、展示・パフォーマンス・レクチャー・上映を行う国際芸術祭、芸術分野を横断した実験的な取り組み等、複合分野ならではの多様な申請がありました。その中から、既存の芸術分野の枠組みでは捉えられない創作に取り組む企画や、独自性のあるドキュメンタリー映像の上映会、アジアの複数都市からの参加者で共同制作を行う国際的なコラボレーション事業など、実現性が高く、独創的と認められる事業が採択となりました。

2025 年度 東京芸術文化創造発信助成 「カテゴリーⅡ〔長期助成〕芸術創造活動」

「カテゴリーⅡ〔長期助成〕芸術創造活動」では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスも含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップを後押しすることを目的に、2 年間または 3 年間の継続的・段階的な支援を行います。

■ 2025 年度「カテゴリーⅡ〔長期助成〕芸術創造活動」申請・採択件数

分野	申請件数	採択件数
音楽	4	0
演劇	8	1
舞踊	1	1
美術・映像	3	0
伝統芸能	3	0
複合	4	0
合計	23	2

・対象期間:2026 年 1 月 1 日以降に開始し、2027 年 12 月 31 日までに終了する事業(2 年間) 又は、
2026 年 1 月 1 日以降に開始し、2028 年 12 月 31 日までに終了する事業(3 年間)

■ 2025 年度「カテゴリーⅡ〔長期助成〕芸術創造活動」採択事業 一覧 申請 23 件、採択 2 件

(単位:千円)					
活動分野	活動内容	申請団体名	合同会社Projectumi	1年目交付決定額	創作環境サポート費
演劇	芸術創造活動	事業名	When Does Time Become Beauty?	2,000	
		実施予定年数	3		
		申請活動の概要	本事業は、月経、妊娠、出産といった原始的な時間をそのまま残す女性の身体を通して、絶えず変化する社会の時間性を問うパフォーマンスである。生産性至上主義に基づく資本主義的な時間性は、私たちの動物的本能、とりわけ生殖のメカニズムにどのような影響を与えているのだろうか。日仏協働体制のもとフランスにて創作を行い、国内外で上演、観客の身体感覚と時間認識に揺さぶりを与える没入型の舞台を創出する。		
活動分野	活動内容	申請団体名	特定非営利活動法人魁文舎	1年目交付決定額	創作環境サポート費
舞踊	芸術創造活動	事業名	ヨルダンx日本 国際共同制作「ヨルダンDance Project 2026-2027」(仮)	4,000	
		実施予定年数	2		
		申請活動の概要	ヨルダンの歴史や生活文化、祭事等の背景や、その土壌から生まれた身体表現のリサーチを行い、作品を創作・発表する。リサーチの過程では、ヨルダンと日本の両国のダンサーによる相互のワークショップや、現地の難民キャンプの子供たちを対象としたワークショップを実施する。1年目は作品の創作過程を公開、2年目に作品を発表し、ダンスの可能性や芸術の意義を、コラボレーションによって追求することを目指す。		

■ 2025 年度「カテゴリーⅡ〔長期助成〕芸術創造活動」採択結果の概況

今年度より公募期間が 7 月に変更になった「カテゴリーⅡ〔長期助成〕芸術創造活動」には、23 件の申請がありました。活動ステージでは、活動基盤形成期の団体からの申請が 5 割以上を占めました。審査の結果、演劇分野と舞踊分野で 1 件ずつ採択となり、いずれも海外で芸術家等と共創し、複数年かけて国際共同制作を行う意欲的な事業です。一方で、計画内容が具体性に欠ける事業や、過去に実施した事業の反復的な要素が強い事業等は採択に至りませんでした。

**2025 年度東京芸術文化創造発信助成
「カテゴリーⅢ [長期助成][単年助成 第 2 期] 創造環境向上活動」**

「カテゴリーⅢ [長期助成][単年助成 第 2 期] 創造環境向上活動」では、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対して、最長 3 年間の支援を行います。

■ 2025 年度「カテゴリーⅢ 創造環境向上活動」申請・採択件数

[長期助成]

分野	申請件数	採択件数
音楽	3	0
演劇	6	2
舞踊	0	0
美術・映像	2	1
伝統芸能	1	0
複合	4	0
合計	16	3

[単年助成]

分野	申請件数	採択件数
音楽	3	1
演劇	4	0
舞踊	0	0
美術・映像	4	1
伝統芸能	0	0
複合	3	0
合計	14	2

- ・長期助成対象期間:2026 年 1 月 1 日以降に開始し、2027 年 12 月 31 日までに終了する事業(2 年間) 又は、
2026 年 1 月 1 日以降に開始し、2028 年 12 月 31 日までに終了する事業(3 年間)
- ・単年助成対象期間:2026 年 1 月 1 日以降に開始し、2026 年 12 月 31 日までに終了する事業

■ 2025 年度「カテゴリーⅢ 創造環境向上活動」採択事業 一覧

[長期助成]

申請 16 件、採択 3 件

(単位: 千円)

活動分野	活動内容	申請団体名	「紙背」編集部	1年目交付決定額	創作環境サポート費
演劇	芸術創造環境の向上に資する事業	事業名	舞台芸術をめぐる言説を発信するプラットフォーム形成プロジェクト「紙背」第二期	1,800	
		実施予定年数	3		
		申請活動の概要	演劇批評誌『紙背』を主宰する「紙背」編集部による3か年のプロジェクト。現在発行している『紙背WEB』の活動を継続するとともに、劇場等との連携による伴走・協働型発信、執筆者公募による若手批評家への執筆機会提供、舞台芸術に関する時評的記事の発信、公募アーティストへの長期的伴走型発信等に取り組む。		
演劇	芸術創造環境の向上に資する事業	申請団体名	特定非営利活動法人Explat	2,100	○
		事業名	特定非営利活動法人Explat×一般社団法人ベンチ アートマネージャー・メンターシッププログラム『バッテリー』		
		実施予定年数	3		
		申請活動の概要	特定非営利活動法人Explatと一般社団法人ベンチが連携し、舞台芸術分野の制作者・アートマネージャーをメンティーとして選出、経験豊富なメンターが実際の制作現場に寄り添うメンターシップを実施する。メンターシップに加えて中間報告会、共有会、公開レクチャー、成果発表を実施するほかアーカイブ作成にも取り組む。既存参加者を含むコミュニティを形成し、持続可能な舞台芸術のアートマネージャー人材育成システムの構築を目指す。		
美術・映像	芸術創造環境の向上に資する事業	申請団体名	一般社団法人コミュニティシネマセンター	2,000	
		事業名	“映画館都市・東京”から、「映画館」(ルビ:コミュニティシネマ)を再起動する		
		実施予定年数	3		
		申請活動の概要	映画祭、映画館等の制作・運営を行う志尾睦子が代表理事を務める申請団体による3か年のプロジェクト。日本の映画上映文化の現在地を把握するため、豊かさや複雑性を持つ「映画都市・東京」の魅力と課題を探り、整理する。そのリサーチの結果を受けて、現在の上映活動を取り巻く制度や慣習、公的な支援制度等を検証し、課題を考える。これらのリサーチ成果を基に、上映振興・支援策を策定し、広く公開して議論する。		

[単年助成 第2期]
申請 14 件、採択 2 件

活動分野	活動内容	申請団体名	新交響楽団	交付決定額	創作環境サポート費
音楽	創造環境向上活動	事業名	新交響楽団過去資料アーカイブ事業	250	
		申請活動の概要	申請団体は、1956年に故・芥川也寸志により創設されたオーケストラ団体である。申請事業は、戦後に活躍した邦人作曲家を直接知る人や資料が失われつつある現状を課題として、団体がこれまで実施してきた公演に関連する資料等を整理し、オンライン上で一般公開することに取り組む。		
活動分野	活動内容	申請団体名	特定非営利活動法人デザイン史リサーチセンター東京	交付決定額	創作環境サポート費
美術・映像	創造環境向上活動	事業名	山口勝弘と同時代の芸術に関するインタビュー映画製作及びアーカイブ事業	800	
		申請活動の概要	申請団体は、デザイン史・工芸史を中心とする芸術文化の普及、学術研究及び学術的な国際交流に関する事業を行い、文化の向上発展に寄与することを目的に設立。申請事業では、メディアアートの先駆者である山口勝弘の活動をアーカイブ化し、その資料を元に映像作家も参加して映像作品を製作することで、新たな発想で現代美術のアーカイブにおける課題解決に取り組む。		

■ 2025 年度「カテゴリーⅢ 創造環境向上活動」採択結果の概況

[長期助成]

16 件の申請があり、特に人材育成に取り組む事業の申請が多くありました。そのうち、公演情報や批評を発信する情報環境整備事業、舞台芸術のマネジメント人材育成事業、そして東京都とりわけ新宿区における映画上映環境の調査、制度検証、政策提言に取り組む事業が採択に至りました。いずれも長期的な展望に基づいて具体的に事業を計画し、新たな発想で課題の解決に実践的に取り組む事業です。本カテゴリーでは、特定団体の内部課題の解決ではなく、分野全体を広く見渡した芸術創造環境の向上に繋がる取り組みが対象となります。今後も明確な課題設定のもと、芸術創造環境の向上に具体的に取り組み、分野全体への波及が見込める意欲的な企画に期待します。

[単年助成 第2期]

14 件の申請があり、2 件が採択となっています。申請事業のうち、音楽分野では申請団体が創立以来継続的に実施してきた演奏会の資料を整理してオンライン上に公開する事業を、美術・映像分野ではメディアアーティストの活動を同時代の芸術家や関係者等のインタビュー映像製作を通じてアーカイブ化する事業を採択しています。いずれも、課題を的確に捉えて、申請者ならではの手法で課題に取り組むもので、分野全体への波及が期待できる事業として採択に至りました。一方で、「カテゴリーⅢ」の趣旨に合致しない申請や、課題設定や解決への取り組みが不明瞭な事業は採択には至りませんでした。

**2025 年度東京芸術文化創造発信助成
「カテゴリーⅣ〔長期助成〕海外映画祭参加活動」**

「カテゴリーⅣ〔長期助成〕海外映画祭参加活動」では、映画のポストプロダクション及び海外映画祭への参加を支援することで、映画分野の国際的な作品発表の活動を促進することを目的に、最長３年間の支援を行います。

■ 2025 年度「カテゴリーⅣ〔長期助成〕海外映画祭参加活動」申請・採択件数

	申請件数	採択件数
合計	21	9

■ 2025 年度「カテゴリーⅣ〔長期助成〕海外映画祭参加活動」採択事業 一覧
申請 21 件、採択 9 件

(単位: 千円)						
活動分野	活動内容	団体／個人	申請団体名		1年目交付決定額	創作環境サポート費
映画	海外映画祭参加活動	個人	高橋慎一		827	
			事業名	ハバナの奇跡		
			実施予定年数	3		
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督の高橋慎一による、ジャズを通じて日本とキューバをつなぐ長編ドキュメンタリー映画。編集・MA・英語字幕製作を行い、海外映画祭での上映を目指す。「キューバで革命後初めてのジャズクラブが建設される」という事実を追いつつ、キューバの豊かな文化をコラージュした映画に仕上げることで、世界中の音楽家・映像作家・芸術愛好者の交流の起点となることを目標とする。		
映画	海外映画祭参加活動	個人	松井至		1,600	
			事業名	走馬灯		
			実施予定年数	2		
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の松井至が「山村の消滅」を描く長編ドキュメンタリー映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。福島県西会津の山村を舞台に、消滅の目にある暮らしを描き、国籍を超えて多くの人が人間の還るべきふるさとを想起する時間をつくる。		
映画	海外映画祭参加活動	団体	株式会社東京シネマ新社		1,600	
			事業名	The Space Bears 4 Ever		
			実施予定年数	2		
			申請活動の概要	申請事業はプロデューサーを岡田一男が、ディレクターを鈴木由紀が務め、クマムシの生きたままの実像に迫る中編科学映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。2018年から顕微鏡・接写で撮りためてきた3種のクマムシの撮食・繁殖・成長・乾眠などの克明な記録から、集大成として1本の映画に仕上げる。		
映画	海外映画祭参加活動	団体	合同会社JyaJya Films		2,155	
			事業名	記憶の向こう側へ		
			実施予定年数	3		
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の島田隆一が、生きづらさを抱えながらも誇りを持って生きる一人の女性を追った長編ドキュメンタリー映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。「女性」「元ハンセン病患者」「日系ブラジル人移民」における集合的記憶を探る。		

(単位:千円)

活動分野	活動内容	団体／個人	申請団体名	ML9合同会社	1年目交付決定額	創作環境サポート費
映画	海外映画祭参加活動	団体	事業名	『さきちゃんたちの夜』	960	
			実施予定年数	3		
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の西原孝至が、吉本ばななの小説を実写化する長編劇映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。現代社会の周縁を生きるシングル女性性が、消えない悲しみから再生していく姿を描くロード・ムービー。		

活動分野	活動内容	団体／個人	申請団体名	田中夢	1年目交付決定額	創作環境サポート費
映画	海外映画祭参加活動	個人	事業名	家族だった私たちは	1,954	
			実施予定年数	3		
			申請活動の概要	申請事業は映画監督の田中夢が、自身の体験をとおりて家族の問題を描く長編ドキュメンタリー映画。編集・MA・英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。生きづらさの根底にある家族の問題、個人的で身近な問題が社会の問題に繋がっていることを映画を通して伝える。		

活動分野	活動内容	活動内容	申請団体名	一般社団法人PFF	1年目交付決定額	創作環境サポート費
映画	海外映画祭参加活動	団体	事業名	メイメイ	2,100	
			実施予定年数	3		
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督のスー・ユチュンによる、言葉を超えたコミュニケーションをテーマにした長編劇映画。翻訳及び英語字幕制作のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。家族関係をベースに描かれる、コミュニケーションの不確かさや人と人とのつながりの不可思議さを、実の姉妹である台湾の俳優のふたりが日本を舞台に演じる。		

活動分野	活動内容	活動内容	申請団体名	株式会社ゴーストイッチ	1年目交付決定額	創作環境サポート費
映画	海外映画祭参加活動	団体	事業名	男の部屋の女(仮)	922	
			実施予定年数	2		
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督の森ガキ侑大による短編劇映画。編集、翻訳及び英語字幕制作を行い、海外映画祭での上映を目指す。本作では、「デジタル社会における監視や匿名性」「女性の多面性」「創作行為に内在する共存性や歪み」といった主題を扱う。		

活動分野	活動内容	活動内容	申請団体名	高野徹	1年目交付決定額	創作環境サポート費
映画	海外映画祭参加活動	個人	事業名	楽園(仮)	1,880	
			実施予定年数	2		
			申請活動の概要	申請事業は、映画監督の高野徹が「生き方の自由」をテーマにドキュメンタリーとフィクションを融合させて描く長編映画。翻訳及び英語字幕制作を行い、海外映画祭での上映を目指す。本作はタイ南部を舞台に、秘めた欲望を持つパートナー、恋と友情に揺れるトランスジェンダー女性、孤独に生きるマッサージ師という三者の人生を描き、現代的な孤独や欲望の在り方を問う。		

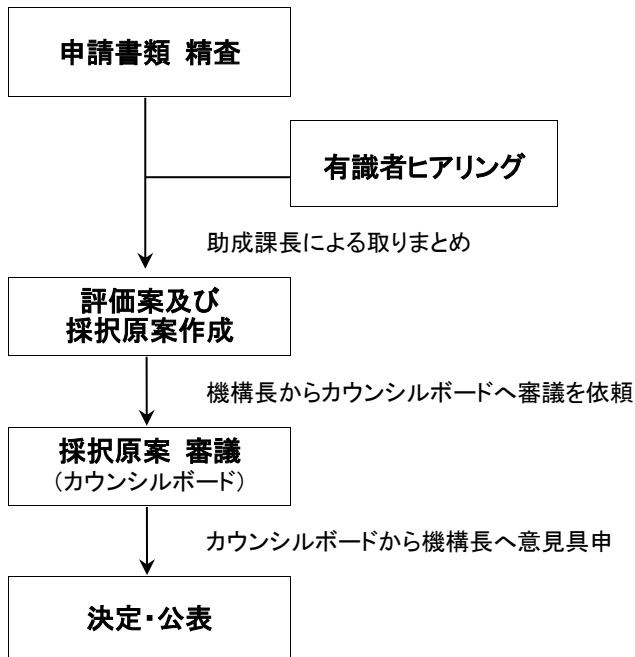
■ 2025 年度「カテゴリーⅣ〔長期助成〕海外映画祭参加活動」採択結果の概況

申請件数は、団体・個人を合わせて 21 件ありました。活動ステージ別にみると、活動基盤形成期と活動拡大・発展期からの申請比率が高く、8 割以上を占めました。また、申請事業のジャンル別では、ドキュメンタリーが 3 割、劇映画が 5 割と大半を占めました。採択に至ったのは、ジャンルや作品の長さに関わりなく、題材に独自性のあるもの、ポストプロダクションで目指す表現手法が明確なもの、海外映画祭の計画が具体的に練られているものなどでした。一方で、不確定要素の多い事業や資料に不備のある事業については、不採択となりました。

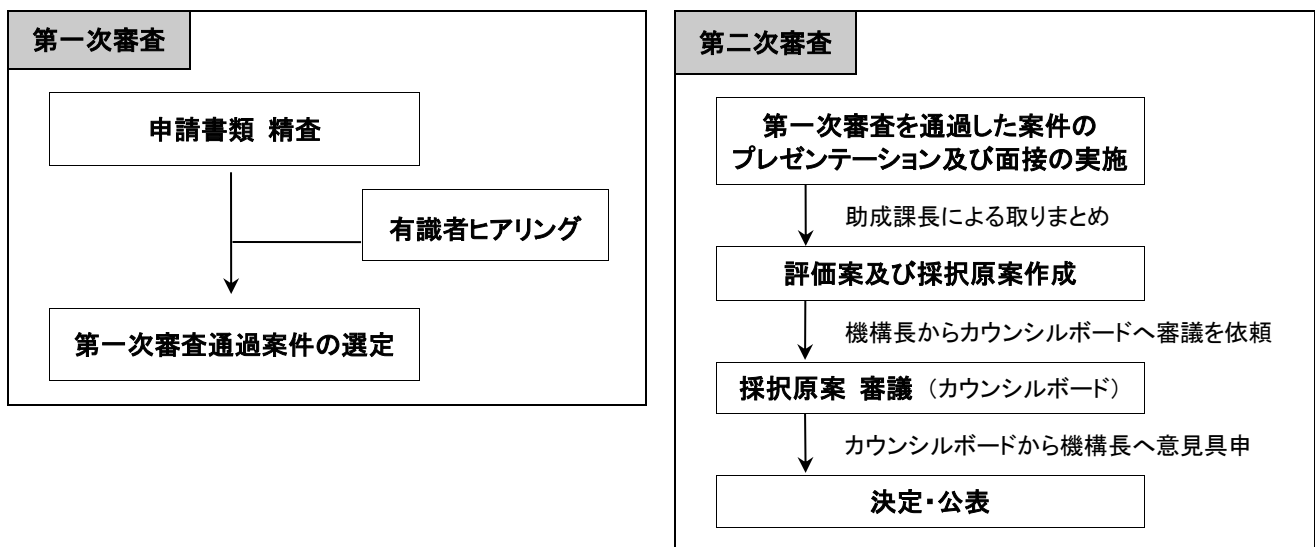
■ 審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。

東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅠ・カテゴリーⅢ [単年助成]



東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅡ・カテゴリーⅢ・カテゴリーⅣ [長期助成]



＜本事業に関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京 活動支援部助成課 担当: 玉虫、浅野
TEL : 03-6256-8431 E-mail : josei@artscouncil-tokyo.jp

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンスル東京 企画部広報課 広報担当: 長澤、柳生
TEL : 03-6256-8432 E-mail : press@artscouncil-tokyo.jp

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>